

自己紹介

セコムマレーシアのご紹介

SECOM (MALAYSIA) SDN. BHD.

セコムマレーシアのご紹介

OUR COMPANY



会社名 SECOM (MALAYSIA) SDN BHD
本社所在地 Shah Alam

31

1991年設立



社員数 758人
日本人 4人



マレーシア全土サービス対応



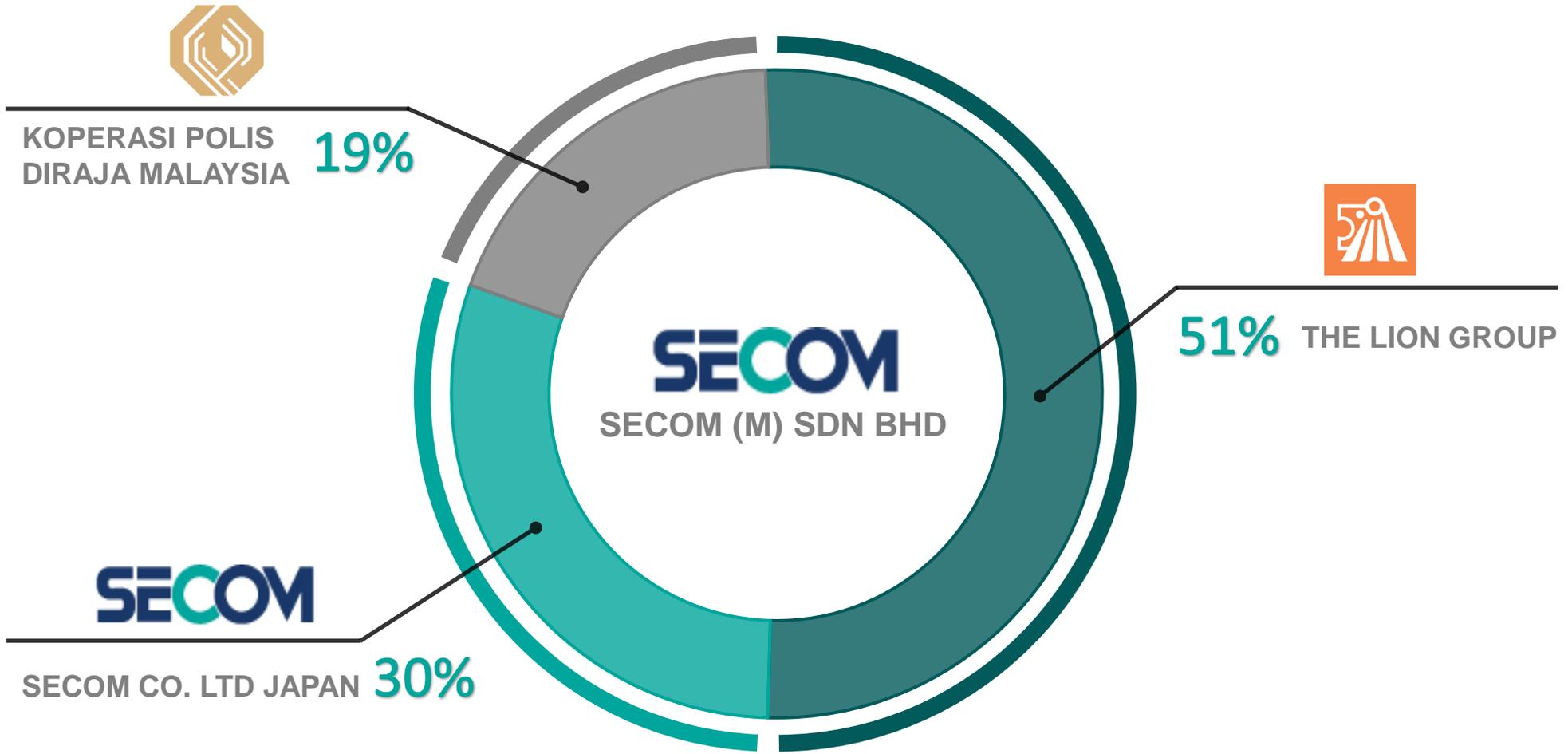
機械警備契約数 4,470+
警備員派遣先 75+



24時間365日稼働

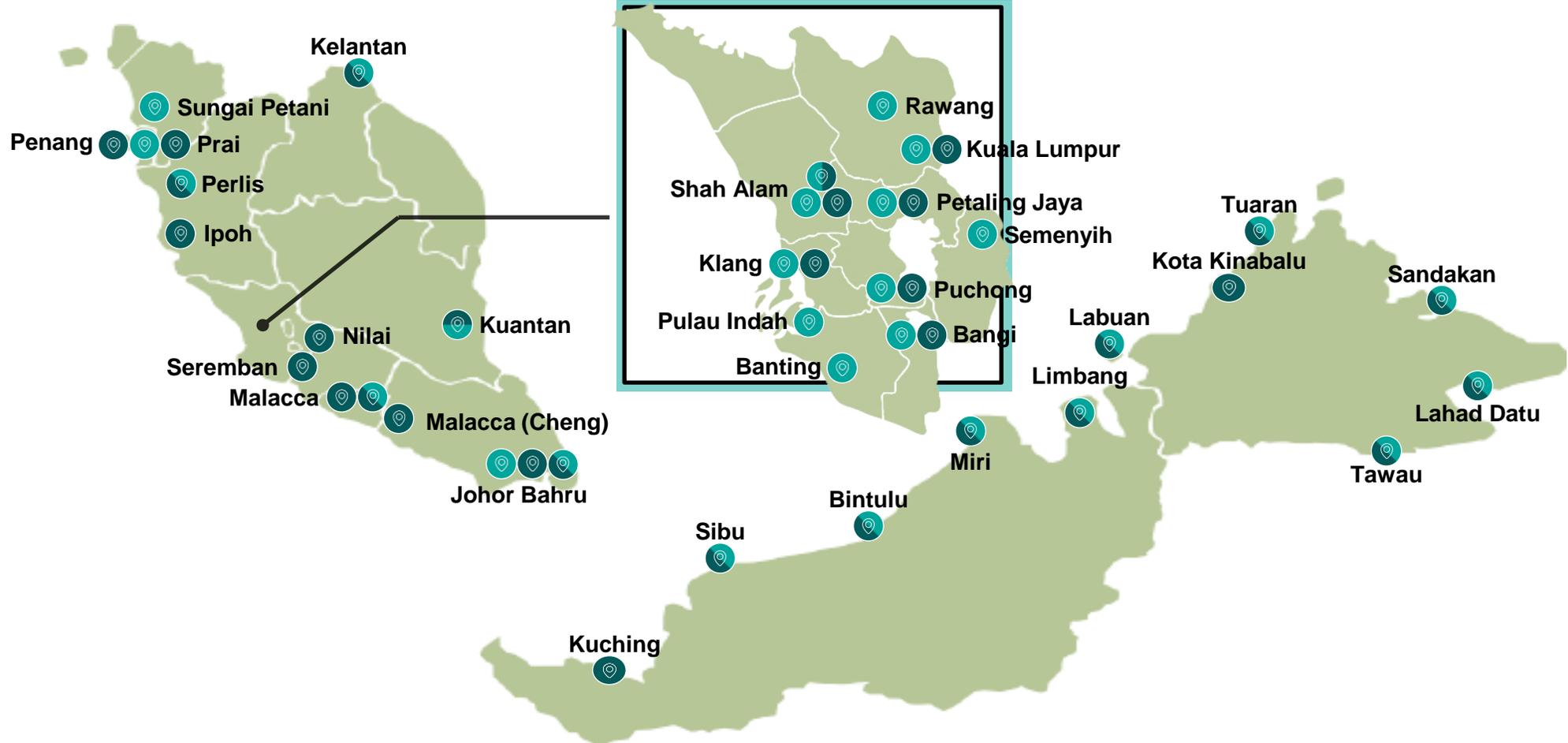
出資比率

OUR SHAREHOLDERS



マレーシア国内拠点

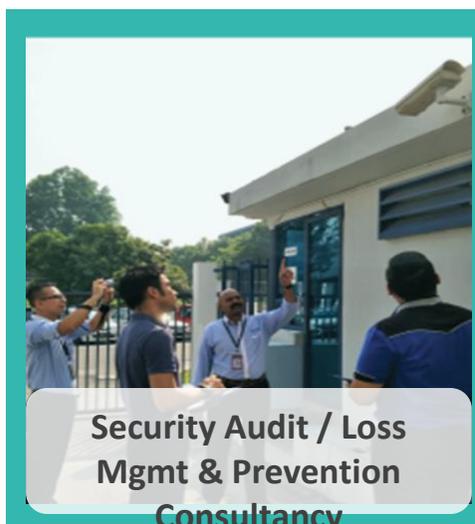
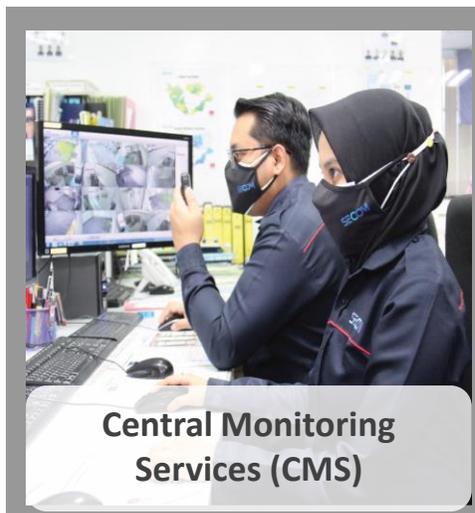
OUR COVERAGE



- 
Mobile (14)
- 
Depot (16)
- 
Head Office
- 
Technical Support
- 
Technical Service Centre (1)

サービス一覧

OUR SECURITY SOLUTIONS



サービス一覧

OUR EQUIPMENT SUPPORT



Closed-Circuit Television
(CCTV)



Access
Control System



Extra Low
Voltage System



Image Retrieval &
Identification System



Automated External
Defibrillator (AED)



Guard Tour /
Patrol System



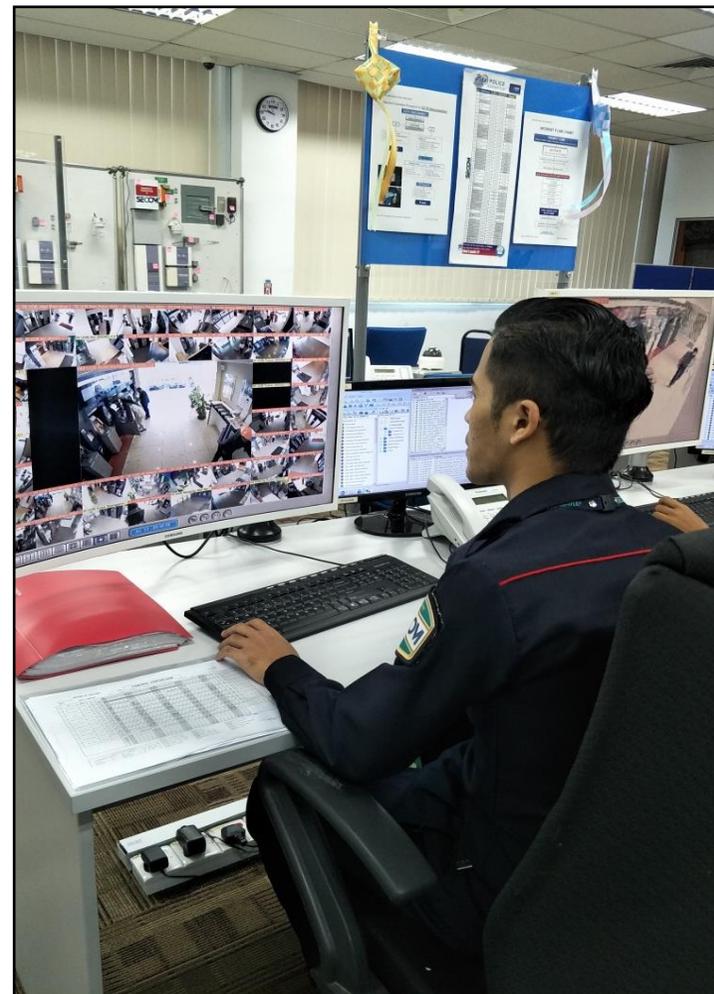
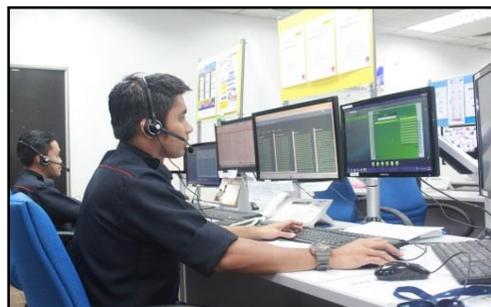
Boom Barrier /
Pedestrian Turnstile



Drone
System / Services

コントロールセンター

OUR CONTROL CENTRE



駆け付け警備員

OUR RESPONSE TEAM



マレーシアで企業が気を付けるべき セキュリティ事情と対策

本章のデータは不正検査士レポート“REPORT TO THE NATIONS, 2018 & 2020, Global Study on Occupational Fraud and Abuse”、同ASIA PACIFIC EDITION、警視庁ホームページ、マレーシア統計庁ホームページ、セコム内部資料より抜粋しております。

マレーシアの治安について

※2020年

	日本	マレーシア	(×4)
殺人	874	253	1,012
強盗	1,138	7,326	29,304
強姦	1,388	1,582	6,328
窃盗(侵入)	37,240	14,040	56,160
	40,640	23,201	92,804

窃盗(乗り物)	119,336	21,579	86,316
車	5,182	4,599	18,396
バイク	7,569	16,059	64,236
トラック	—	921	3,684
自転車	106,585	—	—

マレーシアの治安について

すり・ひったくりへの注意喚起（犯罪被害に遭わないために）

2022年6月23日領事メールにて

現在、当地への訪問者が増えており、**すり・ひったくり等の犯罪に遭った邦人**からの報告が当館に寄せられています。今後、外国人や観光客をターゲットにした犯罪(すり・ひったくり・置き引き)が増えていく可能性があります。在留邦人及び短期滞在者の皆様においては、すりやひったくりの被害に遭わないように、**「時折背後を振り返る」、「バッグを背中に掛けない」等の警戒心の保持と対策**を習慣づけるようお願いいたします。

【すり・ひったくりの手口と対策】

(1) 手口

- ・ エスカレーターに乗車中、背負っていたリュックサックやボディバッグの中から財布等を盗む。
- ・ 電車やバスで数人組のグループに取り囲まれ、バッグから財布を抜き取られる。
- ・ 信号待ちをしている際に、背後から近づき、バッグから財布等を盗む。
- ・ 歩道を歩いていた際、車道側に掲げていたショルダーバッグをひったくられる。
- ・ 携帯電話を見ながら信号待ちをしていた際、走行してきたバイクに携帯電話をひったくられる。
- ・ 盗んだ財布からキャッシュカードやクレジットカードだけを抜き、財布を元のバッグ等に戻す（発覚を遅らせるためとみられる）

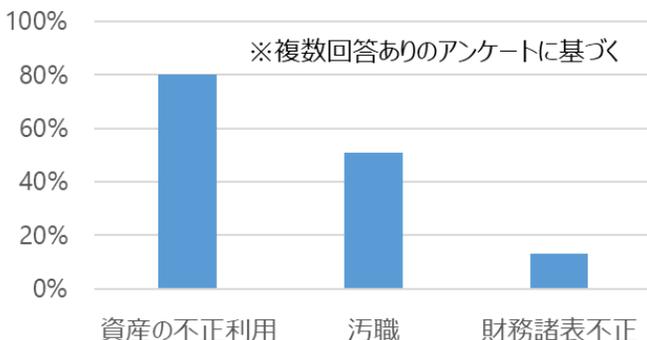
(2) 対策

- ・ 外出時は、多額の現金、カード類等の貴重品は極力持ち歩かない。
- ・ やむを得ず持ち歩く場合には、貴重品などは一か所にまとめず、分散させる。
- ・ リュックサックの外側ポケットやズボンの後ろポケット等、人目につくところに財布や貴重品を入れない。常にカバン等は身体の正面に抱えるように持ち、歩行中やエスカレーターに乗車中はリュックサック等を背中に背負わないようにする。
- ・ 歩道を歩く際は、車道側に荷物やカバンを持たない。
- ・ 2人乗りのバイクには常時警戒する。
- ・ キャッシュカード等で決済する際、暗証番号を盗み見られないようにする（不用意に店員等に渡さず、面前で決済させる）

内部犯行に関するデータ(世界全体)

被害内容(抜粋)

- 一般的に、**年間収益の5%**が不正で失われている
- 2018年の被害は、世界全体で**2690件、総額70億ドル以上**
- 被害にあった企業の23%は、**100万ドル以上の損害**
- 「現金・棚卸資産の不正流用」が最も多く、次いで「汚職」、「財務諸表不正」



地域別損失額の中央値

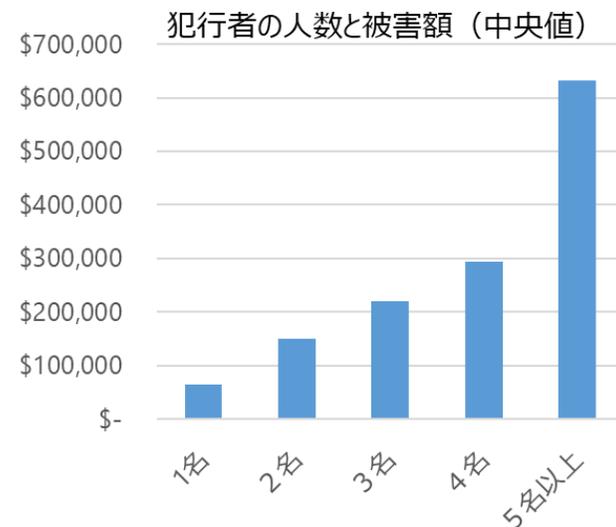
- 世界125カ国のケースを分析
- **アジア太平洋地域*1**は、\$245,000と世界的に見ても**被害額が大きい(3番目)**



アジア太平洋地域*1・・・日本、韓国、中国、台湾、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、ASEAN各国 (該当しない国・・・北朝鮮、ラオス)

組織化された犯行被害の実態

- **組織化**されると発見が遅れ、被害額が大きくなる
- 犯行に**責任者**が関わっている場合、即時解雇できない実態もある (操業が止まる)



アジア太平洋地域における犯行について

日本とは異なりアジア太平洋地域の多くは、従業員による犯行(内部犯行)がほとんどといっても過言ではありません。

内部犯行の例

- **物品/製品/スクラップの窃取**
従業員、取引業者、警備員等が単独・共謀で抜き取る・持ち去る



- **リベート受け取りと斡旋**
購買/人事総務担当者、警備員が、業者からリベートを受取る



- **請求のごまかし**
給油量、メンテナンス費用、入在庫、勤務時間等のごまかし



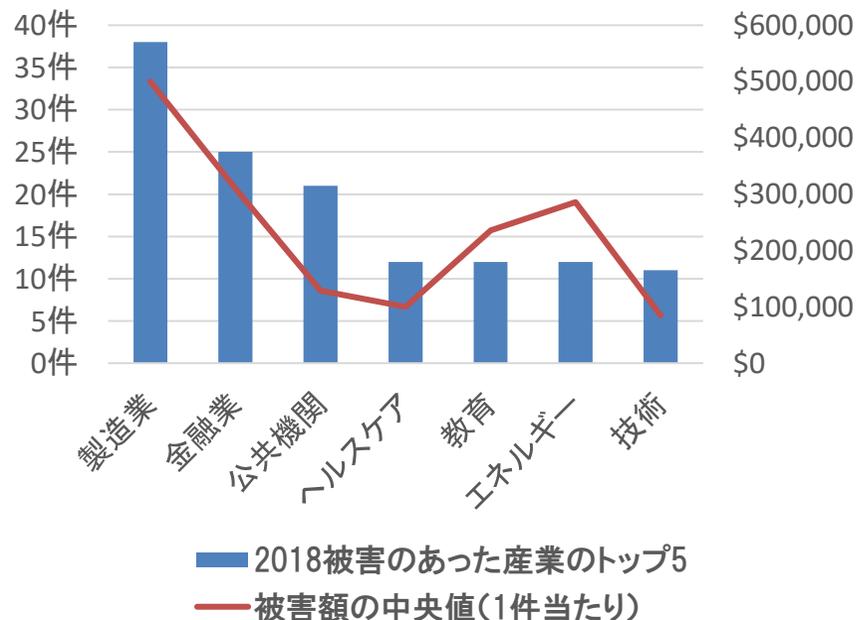
- **社内不正**
不正支払、代金回収時の搾取

- **業務妨害**
設備や施設の破壊、製品への異物混入、社員への嫌がらせ等



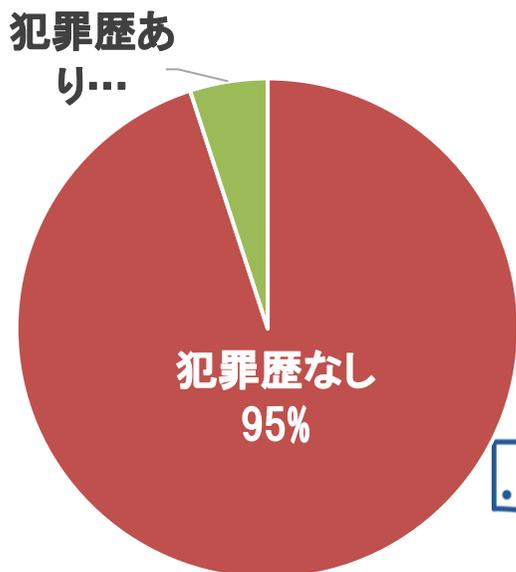
内部犯行の被害

- アジア太平洋地域では、被害件数および被害額ともに最も大きいのが**製造業**



不正発生のメカニズムと対策効果

加害者の犯罪歴(APAC)



ほぼすべてが初犯。
内部犯行の発生要因を
弱めていく努力が必要

不正発生のメカニズム

動機

- ✓ 経済的困窮
- ✓ 家庭問題
- ✓ 脅迫行為
- ✓ 会社への不満等

正当化

- ✓ 低い賃金、昇級なし
- ✓ これくらいは大丈夫だろう
- ✓ 他の人もやっている

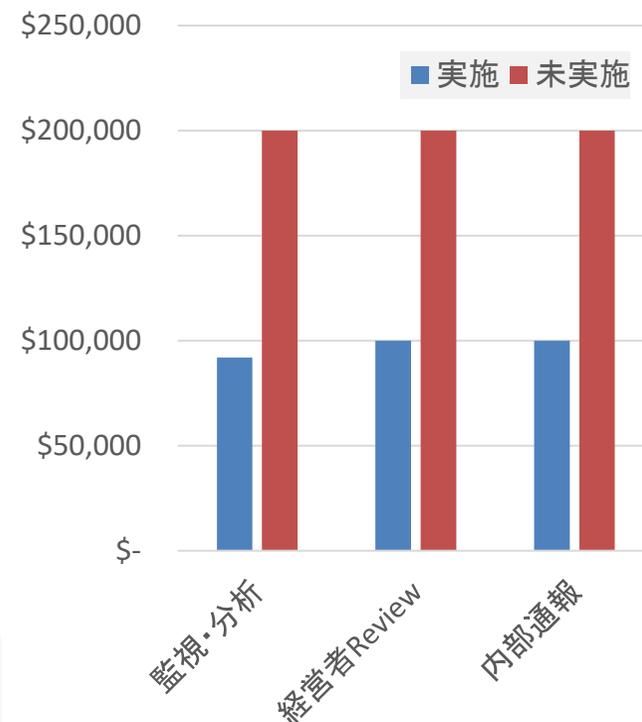
機会・環境

- ✓ 社内チェック機能が不十分
- ✓ 施設の防犯対策が不十分

不正発生

- ✓ 小規模から始まり、次第に増加。
- ✓ 単独から社内外の者との共謀へ発展。

不正対策の効果



不正対策を行うことで
被害額が約1/2に

不正発生のサイクルを断ち切るための対策が必要。



セキュリティに対する考え方

日本での対策

- ✓ 敷地への不審者の入場規制
- ✓ 監視カメラは外部との境界のみ



“部外者を入れていない” から問題ないという考え

性善説 から
性悪説 へシフト

マレーシアでの対策

- ✓ 敷地への不審者の入場を規制するのは当たり前！
- ✓ では、働いている従業員（社員、契約社員、パート社員、出入業者）は本当に大丈夫？
- ✓ 防犯設備（ハード）などは、目的を果たすのに充分なのか？

“内部統制” に重きをおいた対策へ!!

区画・レイアウト事例について

■ 日系お客様の工場・倉庫にて多く確認される事項 及び 改善案

よく見かけられる点

- ✓ 駐車場が工場敷地内にある。
- ✓ 各エリア(エスコート・工場等)への行き来が容易、規制及びセキュリティチェックポイントもない。
- ✓ 搬入口・搬出口が同じ場所。
- ✓ 生産区画内にロッカー・トイレを設置。
- ✓ 廃品置き場等、出入り業者動線及び行動管理が曖昧。
- ✓ 窓や出入口が多い。

その他

改善案 例

- ✓ 工場敷地内に駐車場、駐輪場は設置しない。
- ✓ 搬入口、搬出口は区別し、各業者が、その区画において行き交う場所を設けない。
- ✓ ロッカー・休憩所、喫煙所などは、適切に区別する。
- ✓ 業者動線の監視・変更
- ✓ 窓や出入口は最小化する。
- ✓ レイアウト変更できない箇所は、防犯機器や人的警備を行う。

出入管理による厳格な入場規制と所在管理

出入管理とは、事務室等の区画に対して、「人」の出入りを管理、規制するものです

入室資格を持たない来訪者や不審者の規制はもちろん、区画単位に入室資格を明確に管理することで、資格者だけの入場を許可し、資格を持たない人物の入場を規制します

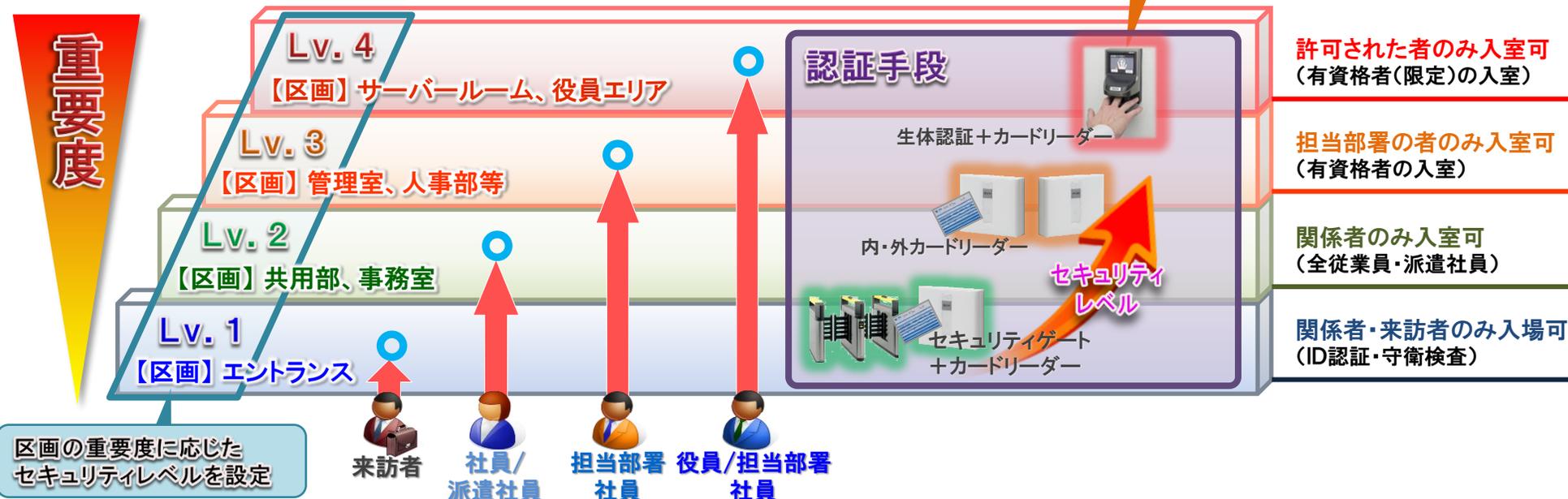


■ 出入規制の主な目的

- ✓ 不正侵入や情報漏えいなどのリスクを払拭し、内部統制を強化
- ✓ 出入履歴を記録として残し、証跡として明確化

重要度が高い区画には貸し借りが出来ない
指静脈による高レベルな認証

【重要度別の区画分けと認証手段例】



「区画」単位で重要度に応じた入室資格・認証手段を決定

セコムが考える最高水準のセキュリティ

人

機械

防災対策と避難誘導 問題の未然防止 防犯・防災検知 館内・場内の遠隔監視
 積極的な声掛け 犯罪行為への抑止効果 迷惑行為への牽制効果 証跡記録
 経験に基づく適切な判断



連携

臨機応変に対処

24時間常時監視

観察力 分析力
 行動力 判断力

相乗効果

常時監視 異常検知
 情報共有 記録

マン(人)・マシーン(機械)の融合で高効率なシステムを構築

思い当たることはありませんか？

No.	内部犯行を誘発しやすい環境のチェック項目
1	社用車の使用、給油、走行等の記録がない または、明確な運用ルールがない
2	来訪者の記録や入門証やバッチの着用を行っていない
3	残業、休日出勤の社員管理に日本人が関与していない
4	倉庫や重要箇所の鍵が簡単に複製できるタイプのものである または、長い間変えていない
5	取引業者を長年変えていない または、変えようとするに反対する社員がいる
6	ゴミ置き場、産業廃棄物置場、フェンス近くに製品や部品が放置されていたことがある
7	紛失事案が日本人に報告されない 報告されても波風を立てないように大目にみている
8	取引業者と守衛が仲がよく、タバコや飲料を渡していた
9	出入口で社長車のチェックを行っていない 社長から守衛に話をすることがない
10	敷地への出入り時に社員の所持品チェック等を行っていない
11	敷地フェンスに“穴”や“まくった跡”や“下を掘った”ような跡があった
12	敷地内の植栽が育ってしまい視界を遮っている

ご清聴ありがとうございました

信頼される安心を、社会へ。

SECOM